



筑波大学
University of Tsukuba



筑波大学人文・文化学群人文学類案内 2023

編集・発行：筑波大学 人文・文化学群 人文学類
発行責任者：島田 雅晴
所在地：〒305-8571 茨城県つくば市天王台1-1-1
Phone・Fax：029(853)4001
発行日：令和4年7月8日
ホームページ：http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/

筑波大学 人文・文化学群

人文学類案内 2023

College of Humanities



ようこそ人文学類へ

—人間の見えない真実を探究する—

人文学類では、人文系の学問分野の中でも特に、哲学、歴史学、考古学、民俗学、言語学といった領域を深く学ぶことができます。人文学類生は哲学主専攻、史学主専攻、考古学・民俗学主専攻、言語学主専攻の4つの主専攻の何れかに属し、卒業論文の作成に向けて、専門性の高い勉強をすることが求められます。

卒業論文を完成させる過程では、過去の研究者の研究手法を手本とし、それをなぞり、模倣することで、研究とはどういうものかを体感・体験することになります。そうすることで得られるのは、それぞれの分野に固有の専門的概念や専門的知識だけではありません。何事に対しても論理的に思考し、自分で答えを導きだせるようになる知性です。これは自分の日々の営みをとても豊かなものにしてくれます。文科系であろうと、理科系であろうと、体育・芸術系であろうと、大学で学ぶということは、この知性を養うことだと私は考えています。

学問とは、表面的には見えないものを可視化すること、日常的には意識しないものを意識化することだといえます。例えば、重力は直接目には見えません。また、そういうものがあるなど、普通に生活していく中では意識することはありません。しかし、それには実在性があるわけです。表面的には見えないものを見ることや無意識的なものを意識することは大変難しいことです。一步下がって、そして、客観視する対象として、物事を見つめなければならないからです。この抽象的な思考能力が知性の源です。

先にも述べましたが、人文学類で扱う研究領域は、哲学や史学、考古学、民俗学、そして、言語学です。これらに共通するのは、人間の思考や営みに関係するということです。つまり、人文学類では、私たち人間が、私たち人間について、一步下がって表面的には見えない真実を探究します。

「人間」はあまりにも私たちにとって近過ぎます。また、当然すぎる存在です。そういうものを学問の対象とすることはとても難しく挑戦的で、だからこそ、魅力的だともいえます。人文学類でぜひチャレンジングな問いに挑んでみてください。

人文学類長 島田 雅晴
(言語学主専攻 英語学コース)



CONTENTS

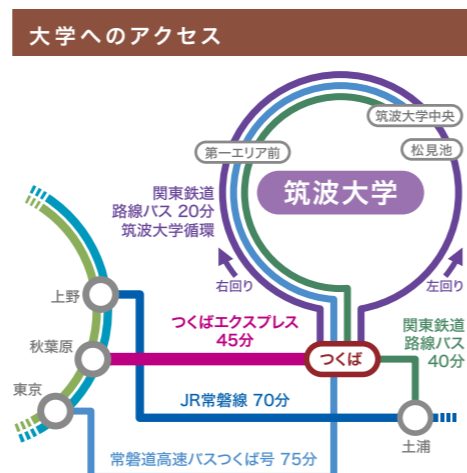
ようこそ人文学類へ	1	言語学主専攻	15
人文学類とは	2	一般言語学コース	16
留学制度	4	応用言語学コース	17
哲学主専攻	5	日本語学コース	18
哲学・倫理学コース	6	英語学コース	19
宗教学コース	7	卒業生の進路 就職と進学	20
史学主専攻	8	卒業生からのメッセージ	21
日本史学コース	9	人文学類に関するQ&A	22
ユーラシア史学コース	10	入試情報	23
歴史地理学コース	11		
考古学・民俗学主専攻	12		
先史学・考古学コース	13		
民俗学・文化人類学コース	14		

**筑波大学
人文・文化学群人文学類**

■昭和49年開設
定員※.....120名
現教員数.....52名

■令和4年度入学者
AC入試.....4名
推薦入試.....21名
私費外国人留学生入試...0名
前期試験.....48名
後期試験.....21名
入学者.....94名

※定員1学年120名
1年次は、うち30名が総合学域群に所属



人文学類とは？

筑波大学の組織

筑波大学には学生の所属する「学群・学類」という組織があります。サイズから言うと、学群は学部、学類は学科くらいに相当しますが、専攻の成り立ちから言うと、人文学類は人文科学の多くの分野をそそえていることから、学部と同等と考えてください。

「人文・文化学群」は、人文学類のほかに、比較文化学類、日本語・日本文化学類のあわせて3つの学類で構成され、この3学類のカリキュラムに共通の科目が設けられ、人文科学系統の科目を互いに履修しやすく工夫されています。詳しくは下記のウェブページをご覧ください。

<http://www.humcul.tsukuba.ac.jp/>



卒業後も研究を続けたい人のために大学院人文社会ビジネス科学学術院人文社会科学研究群人文学学位プログラムがあり、そこでは人文学類のほとんどの教員が指導にあっているため、教育研究内容の一貫性が高くなっています。また、教育関係の大学院に進学する卒業生もいます。

人文学類の主専攻とコース

人文学類には、哲学主専攻、史学主専攻、考古学・民俗学主専攻、言語学主専攻という4つの主専攻分野があります。それぞれの主専攻分野は、さらにいくつかのコースに分かれ、人文学類全体では11のコースがあります。総合学域群から人文学類へ進むこともできます。

筑波大学の教育組織(学生の所属)

学群	学類	人文学類
人文・文化学群	人文学類 比較文化学類 日本語・日本文化学類	哲学主専攻 哲学・倫理学コース 宗教学コース
社会・国際学群	社会学類など	史学主専攻 日本史学コース ユーラシア史学コース 歴史地理学コース
人間学群	教育学類など	考古学・民俗学主専攻 先史学・考古学コース 民俗学・文化人類学コース
生命環境学群	生物学類など	言語学主専攻 一般言語学コース 応用言語学コース 日本語学コース 英語学コース
理工学群	数学類など	大学院
情報学群	情報科学類など	人文社会ビジネス科学学術院
医学群	医学類など	人間総合科学学術院
	体育専門学群	
	芸術専門学群	
総合学域群	2年次より人文学類へ30名移行	

履修について

人文学類の授業科目は下表のように区分されます。目的意識をもってこれらの全科目群を計画的に履修すると、将来への展望が開けてきます。たとえば、スペシャリストを目指す人は、専門科目を重点的に履修することができます(専門重点化)。ジェネラリストを目指す人は、関連科目として人文系だけでなく社会系、芸術系、理科系の科目を広く履修したり、専門外の特定分野を集中的に学んで教養を深めたりすることも可能です(教養重点化)。教員を目指す人は、関連科目として教育学類の科目を意識的に履修すると付加

価値が高まります(教職重点化)。国際派を目指す人は、共通科目として特定の外国語を鍛える科目を重点的に履修することができます(語学重点化)。

なお、所定の「教職科目」や「博物館学」の単位を修得すれば、教員や学芸員の資格が得られます。人文学類で取得できる教員免許状の種類と教科は、中学校一種と高等学校一種の国語・社会(高校は地理歴史、公民)・英語の普通免許状です。

人文学類の授業構成(令和4年度)

授業科目の区分	内 容	標準的な履修計画				単位数	
		1年	2年	3年	4年		
専門基礎科目	専門教育に必要な基本的な知識の修得	○○ ○○	○○ ○			11単位	
専門科目	主専攻コースの専門的な内容の修得	○○○ ○○○	○○○ ○○○ ○○○	○○○ ○○○ ○○○ ○○○ ○○○	卒業論文 ○○○ ○○○	54~ 88単位	
基礎科目 (共通科目)	総合科目	フレッシュマンセミナー 学問への誘い 学士基盤科目	○ ○ ○			1単位 1単位 1単位	
	体 育	健康管理と体力増進	○	○		2単位	
	第一外国語	外国語の実用能力の育成(英語・ドイツ語・フランス語 中国語・ロシア語・スペイン語・朝鮮語)	○○○ ○			4単位	
	第二外国語	外国語の実用能力の育成 (上記外国語のうち第一外国語以外の言語)	○○○	○		4単位	
	情 報	情報科学についての基礎的な能力の育成	○○○ ○			4単位	
	国 語	日本語の文章作成技術の養成	○○			2単位	
関連科目 ()	芸 術	芸術を鑑賞する力を培い自ら制作することを学ぶ科目	○	○	○	○	自由
	選 択 科 目	基礎的・入門的な科目	○○○ ○○○				6~ 34単位
教職科目	教員資格を得るために必要となる科目	○○○ ○○○ ○○○	○○○ ○○○ ○○○	○○○ ○○○ ○○○	教育実習	10単位を 限度として 選択科目に 認定	
卒業単位124単位							

※丸印は1単位を表し、各学年で履修する単位数のイメージを示しています。

筑波大学は69か国・地域の大学・機関と381の交流協定を結んでいます(2022年5月18日現在)。最近では以下をはじめとする大学に人文学類生が留学をしています。

- サントペテルブルク大学(ロシア)
- 北京大学(中国)
- 高麗大学校(韓国)
- キーウ国立大学(ウクライナ)
- カレル大学(チェコ)
- フランシュ=コンテ大学(フランス)
- 世界経済外交大学(ウズベキスタン)

協定に基づく交換留学の場合、授業料相互免除および単位互換制度があります。奨学金や単位互換制度など、留学に関する詳しい情報については、下記のウェブページをご覧ください。

<http://www.kokuren.tsukuba.ac.jp/GP/gplist.html>

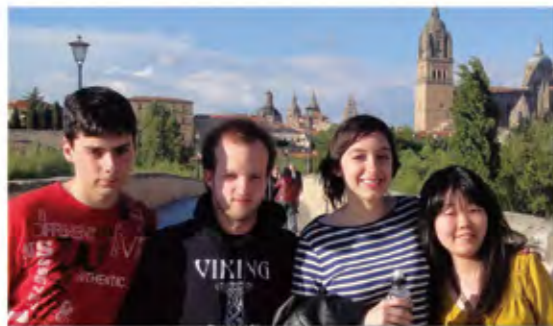
また、選抜を経た人文学類生は地域研究イノベーション学位プログラム(ASIP)生となることができます。これは、学類と大学院修士課程を通常より早い5年で卒業し(留学1年を含む)、グローバルに活躍する地域プロフェッショナルを育成するものです。留学のための費用が支援される予定です。詳しい情報については、下記のウェブページをご覧ください。

<http://asip.hass.tsukuba.ac.jp/>

私の留学生生活 サラマンカ大学:スペイン 卒業生 中川 紗智

大学では、スペイン語・スペイン文化を学ぶプログラムと、ラテンアメリカ地理やポルトガル史に関する科目を受講しました。授業は当然のことながら全てスペイン語で行われるため、ついていくのが大変でしたが、日本で学ぶのとはまた違ったアプローチの仕方が新鮮で、とても興味深く面白く感じました。授業以外でも、日本語を勉強しているスペイン人学生たちと言語交換(互いの母語を教えあうこと)を行い、一緒に食事をしたり遊んだりしながら語学力を上げることができました。

また、長期休暇中には、ヨーロッパ各国-ポルトガル、ドイツ、スウェーデン、フィンランド、バルト諸国などを一人で旅行し、様々な経験をしました。それまで一度も海外に行ったことがなく語学もさほど得意ではなかった私ですが、留学生生活をおくる中で今まで知らなかった沢山の異なった文化や価値観に触れ、それらに体当たりでぶつかることで、自分のなかに大きく新しい世界が拓けたように思います。



私の留学生生活 フランシュ=コンテ大学:フランス 卒業生 寺下 彩乃

大学附属の語学学校 CLA(Centre de Linguistique Appliquée)でフランス語の力をつけた後、大学の学部の授業を受けました。CLAには様々な国籍の留学生がおり、フランス人の友人に加えたくさんの国籍の友人ができました。学校がない日でも一緒に料理を作ったり街に出かけたりして、交流を深めました。また、大学の国際交流団体のイベントにも積極的に参加しました。

授業中だけでなく日常生活のすべてにおいてフランス語を使わなければならないことに最初は不安を感じていましたが、活きたフランス語に触れながら自分もフランス語を使うことで、語学力向上をめきめきと実感できるため、勉強していて楽しかったです。自力で生活するため、また、友達との会話を心から楽しむため(語学力があるほうが、お互いの考えていることをより正確に伝えあえる)に必要な語彙や表現が、必要なものほど早く覚えられました。

今まで海外に行ったことがなかったため、何もかもが新しいことばかりでした。街を歩いていると、友人と話している、何かしらの発見がありました。その結果として、日本にいたら考えないようなことを考えたり、今まで持っていなかった新しい視点を得たりすることができ、すごく嬉しかったんです。さらに、それらが回らずも自分に返ってきて、自分自身のことも以前より分かるようになったような気さえるのは驚きでした。



私の留学生生活 大連大学:中国 卒業生 吉田 奏一

「大連プレインターシップ」は、大きく二つのプログラムから構成されています。留学を見据えた日本語学科の学生との交流と大連に進出している日本企業の見学です。

現地の学生との交流では、彼らと食事や行動を共にしながら、大連大学の学生が日々どのような生活を送っているのかという様子や日本語学科の授業風景を詳しく知ることができます。日本企業の見学では、大連に進出している様々な企業の方のお話を聞く中で、普段はあまり見ることができないような事業や商品開発の現場を見学させていただきました。

こうしたプログラム以外にも、プレインターシップでは比較的受講生が自由に行動できる時間も設けられており、発展著しい開発地区や大連市の中心地へと足を運ぶことも可能です。北京、上海...といった中国の他の都市とも違う街の光景は、きっと皆さんの目を惹くはず。そして何より、中国では珍しいらしく...空気がキレイな街です!

海外に行ってみたくは、なかなか足を延ばせない。学んだ中国語を実際に使える場所に行ってみたく。他でもない大連という街を見たい。そのような思いを持っている方は、ぜひ「大連プレインターシップ」に参加してみてください。



■哲学・倫理学コース ■宗教学コース

宗教学コース 保呂 篤彦

「哲学」が他の学問(科学)とは異なる特別の学問であることは、その名称からも見て取れます。物理学(自然科学)や法律学(社会科学)はもちろん、歴史学や人類学、言語学のような人文学(人文科学)もまた、その名称に表れているように、何れもその対象が限定されており、それに応じて研究方法にも制約がありますが、「哲学」だけは研究対象に限定がなく、研究方法も多様なのです。

それでは、「哲学」は一体何を研究するのでしょうか。これ自体が一つの「哲学的」な問いであり、答え方も一通りではありませんが、一つの答えとして次のように言ってもよいでしょう。すなわち、「哲学」は他の学問(科学)が原理的に扱えない問いを問う。例えば、物理学は物のあり方を研究し、普遍的に妥当する答えを導きますが、なぜその知が普遍妥当的でありうるのかを、物理学自身は問うことすらできません。また、民族学や人類学は特定の民族・文化において、いかなる善悪の観念が通用しているかを研究できますが、本来的・普遍的な善は問えません。さらに、「私」とは何者で、何のために存在するのかを問う科学など、どこにも存在しません。そして、このような問いこそ、哲学、倫理学、そして宗教の問いに他ならないのです。

科学の目覚ましい発展にもかかわらず、科学知では解決できない諸課題に人類が直面している今こそ、哲学・倫理学・宗教学の真摯な探究が強く求められているのです。



『純粋理性批判』第二版扉

7世紀インドの仏教哲学者ダルマキールティ

哲学主専攻について

人文学類の「哲学主専攻」は、「哲学・倫理学」、「宗教学」という二つのコースに分かれ、時代的には、古代から近現代まで、また内容的にも、西洋思想のみならず、東洋思想や日本思想までカバーした全国でも有数の充実した学びの環境を提供します。学びのスタイルも、文献を緻密に読み解くものから実地調査を重視するものまで様々ですが、どちらのコースに所属しても他コースの授業を学修することが容易であり、質、量ともに申し分のない学修経験を積むことが可能です。



ソクラテス

哲学・倫理学コース

授業科目

- 哲学特講 ■ 哲学史 ■ 哲学演習 ■ 倫理学特講 ■ 倫理思想史 ■ 倫理学演習



デカルト カント

「生きる」ことは「知る」ことと共に

教授 [西洋近世哲学と対話論] 檜垣良成

人間にとって「生きる」ことは「知る」ことと共にありますが、人は、一定の「ものの見方(知り方)」を前提し、特定の「生き方」を選ばざるをえない生き物です。この世界(直)観ないし人生(直)観を反省し、真に自分のものにするところに哲学・倫理学の真骨頂があります。

哲学することの醍醐味は、単に知識を増やすことにあるのではなく、自分が生きるうえで既に前提している原理(常識)を反省し、みずからの責任で再構築することにあります。現代世界の混迷を理解する鍵は、この意味での哲学の不在、人文学の軽視にあると思います。進むべき方向を見定める知性なしに私たちの未来はありません。しかし、このことは一人でできることではなく、他者との〈対話〉、過去の哲学者との〈対話〉を適切に積み上げることによって可能になります。哲学・倫理学コースでは、教員とコースメンバーが互いに助け合いながら、この「哲学すること」、「倫理学すること」を学んでゆきます。



檜垣 良成 (西洋近世哲学と対話論)

身の回りを見ても世界を見ても、真理の探求としての哲学の重要性は増すばかりです。ともに探求しましょう。



千葉 建 (西洋近現代倫理学)

倫理学を通じて、「善い人間とは何かを知る」だけではなく、「善い人間になる」手助けができれば嬉しいです。

津崎 良典 (西洋近世哲学)

フランス哲学の学びを通じて人間と人間を超えるものへの感嘆を新たにしてほしい。



板東 洋介 (日本倫理思想)

一見浅々としたものに見える日本思想の中にひそんでいる、深く真摯な思考に触れていただければ何よりです。

哲学、倫理学はどんな授業？

哲学では、近世哲学を中心に、モンテーニュ、デカルト、マルブランシュ、ライプニッツ、デイドロ、カントなど、フランス、ドイツの哲学者が主に取り上げられます。また、ベルクソンなどの20世紀の哲学にも触れられます。

倫理学では、古代から現代のさまざまな哲学者たちの道徳に関する思想が検討されます。また、そうした倫理思想を参照しながら、現代の社会的・技術的な諸問題についても批判的に考察されます。

先輩たちの卒業論文

- ・プラトンにおける正義と幸福
- ・伝統的懐疑論とデカルトの方法的懐疑
- ・カント倫理学における嘘の絶対的禁止の位置づけ
- ・ベルクソンにおける客観性の問題
- ・生命倫理における「自己」領域の臨界点
- ・共苦の思想—親鸞と利他行—
- ・不安の中の実存
—キルケゴール「不安の概念」研究—
- ・ヤスパースにおける〈限界状況〉と〈直観〉
- ・ハンナ・アーレントの「世界」について

コースの声



卒業生 新井 洸樹

哲学を勉強することから自分で哲学することへ転換するのが難しかったですね。12年間の学校生活で染みついた、知識の要領のよい吸収、提示された解法の定着、自分に期待されている「模範解答」を答えること。こうした姿勢に囚われていた間は、哲学について知識があっても、哲学者が真に言いたかったことの欠片も理解できていませんでした。

フィヒテ曰く、「汝自身に注視せよ、これが哲学の第一の要求である」。自分が馴染みすぎて気づかなくなっている考えや振る舞いを明るみに出し、そして中でもそれなしには他のことが成立しなくなるような考えや振る舞いを吟味します。こうしたことが哲学に必要なことに気がつくのが遅れて、それまで自分がしていた哲学の勉強とは浮ついたものでした。

自己をよく見ることで自己の根幹の部分が分かった、現代の科学的知識からすると突飛もないような哲学の世界観がむしろその知識以上に射ているということが分かります。根幹の部分についての体系的な整理の仕方や論理的に追及された根拠には差があれども、つまり内容は異なっているけれども、各々の哲学者も同様に根幹を向き合っている問題にしていたのです。

哲学を学びたいという人の中には、自分のやりたいことが見つからなくて、あるいは自分らしさが分からなくて人生の指針を求める人もいます。それを求めるという意味で大学の哲学は期待外れです。しかし、哲学書から引用された(大衆向けの本の)洒落た言葉を指針にしてしまうことがなく、指針の内に生きていることを発見することができるという意味では期待以上でしょう。

宗教学コース

授業科目

- 宗教学 ■ 宗教哲学 ■ 比較思想論 ■ 西洋宗教思想史 ■ 東洋宗教思想史 ■ 宗教学演習



上: 関西・北陸での宗教学実習の様子
下: 「宗教学-bj」の講義の様子

現代社会から期待されている宗教学

宗教は科学技術の発展によって近い将来、消えてなくなると予想された時代がありましたが、この予想は裏切られました。中近東を中心にしたイスラーム復興、アメリカ合衆国におけるキリスト教ファンダメンタリズムの台頭、ロシアや東ヨーロッパの共産主義体制崩壊後のキリスト教再生などに見られるように、宗教は今なお世界の人々の心に生き続けています。一方、宗教は、国際紛争など世界が解決すべき重大な問題とも、また、いわゆるカルトなど私たちに困惑させる身近な問題とも深く関わっています。私たちの平穏な日常の支えになる宗教と様々な問題を引き起こす宗教はどのように繋がるのでしょうか。このように現代社会は多様な宗教現象に翻弄され、宗教に対する適切な理解を強く求めています。そしてこの要求に応じることを最も期待されているのが他ならぬ「宗教学」です。宗教現象の多様性・多面性に於いて、宗教研究には多様なアプローチの仕方があります。本コースでは、方法論や研究対象がそれぞれ異なる三人の教員が、現代世界の宗教状況が突き付ける問題を自分なりに受けて立ちとうとする学生諸君を多面的にサポートします。



保呂 篤彦 (宗教哲学、カント研究)

西谷啓治曰く。宗教はそれを必要としない人にこそ必要である。宗教を必要としている人も、必要としない人も大歓迎です。



志田 泰盛 (インド古典学)

サンスクリット語を通じて古典インドの思想世界を覗いてみると、世界の見え方が変わってくるかもしれません。



土井 裕人 (西洋古代の宗教思想)

思想を挙げるまでもなく、人間の関わる様々な領域を宗教抜きに理解しようとすることはできません。そこに宗教や宗教学を学ぶ面白さがあります。

宗教学はどんな授業？

宗教を学ぶ上では当たり前にあるように思える「宗教」や「宗教学」ですが、必ずしも自明にあるものとは言えません。春学期はreligionに対する訳語としての「宗教」と元のreligionについて、語の成立から考えていきます。秋学期は宗教学の主要な学説をたどります。

先輩たちの卒業論文

- ・インドの女神ドゥルガーとカーリーに見られる又ミノーゼ
- ・異類婚姻譚における動物表象と宗教
- ・現代仏教寺院の役割
- ・バルトリハリにおけるbuddhiについて
- ・近代日本における女性宗教家の在り方について
- ・神話における男性性と女性性—「ヒーローの旅」と「ヒロインの旅」の非対称性について—
- ・人生を語る相手としての哲学的対話ロボットの可能性とシステム構築
- ・ムスリムの宗教実践と日本における生活上の困難

コースの声



卒業生 石戸 美緒

皆さんは「宗教」を勉強すると聞いてどのようなことを思い浮かべますか。ある特定の宗教の教義を考察したり、宗教家の思想を探求するといったイメージを持つ方も多いかもしれませんが、それだけではありません。宗教は人間の文化や習慣などあらゆる行動の基礎となっています。さらに、宗教は古代から現代にいたるまで人々の中に生き続け、時間的にも空間的にも大きな広がりを持っています。そのため、宗教を通して現代の問題にアプローチしたり、美術作品や演劇などの文化的要素から宗教の本質や思想を考えることも宗教学コースで可能です。つまり、宗教学コースでは幅広いテーマを扱うことができるということが特徴の一つと言えます。

私は、古代インドの物語集が宗教的要素を含むようになる過程を美術作品から研究しましたが、宗教学コースでは様々な研究対象を様々な研究方法で考察できるため、同じ宗教学コースの中でも多種多様な研究をしている仲間がいます。そこから、刺激をもらい、自身の研究に生かしたり、自らの考えを相対化ができるという点も宗教学コースの魅力でしょう。

皆さんも宗教という切り口から、人間の本質や自らの問題意識について深く掘り下げてみませんか。

史学主専攻 History

■日本史学コース ■ユーラシア史学コース ■歴史地理学コース



▲中国・清朝の銅銭

歴史学を学ぶということ

—私たちは、現在、どこにいるのか—

「歴史学」とはどのような学問かと問われ、大学の新生すべてに分かってもらおうとすると、答えは以下になるだろうか？

家の掃除をしていると押入れの片隅から段ボールの箱が現れた。中から古い日記帳が数冊、写真が雑然と放り込まれた紙袋、手紙、子供の時の成績表、いろいろな賞状、領収書、給料明細、健康診断書、車の免許証、映画やコンサートのチケットも……。ほとんどは、10年ほど前になくなった遠縁の叔父さんのものだ。これを材料(史料)に「叔父の歴史」を復元する。古いものから新しいものへと並べてみようか。音楽家だった叔父さんが、どのように音楽を学んだのか、関係のあるものを集めて整理しようか。北海道、東京、ウィーン、パリと渡り歩いた叔父さんが、それぞれの場所で、どんな所に住み、どんな格好でどんな物を食べ、なにを思っていたのかをのぞき見てみたい……。さまざまな「叔父の歴史」をまとめる構想が浮かんでくる。こうして、データを集め、整理して、過去を探らし、追体験する試みが開始される。そして、今の時代との違いも考えてみる。歴史学とは、おおよそ、こんなものか。この先は、大学で「自分で」学んでください。

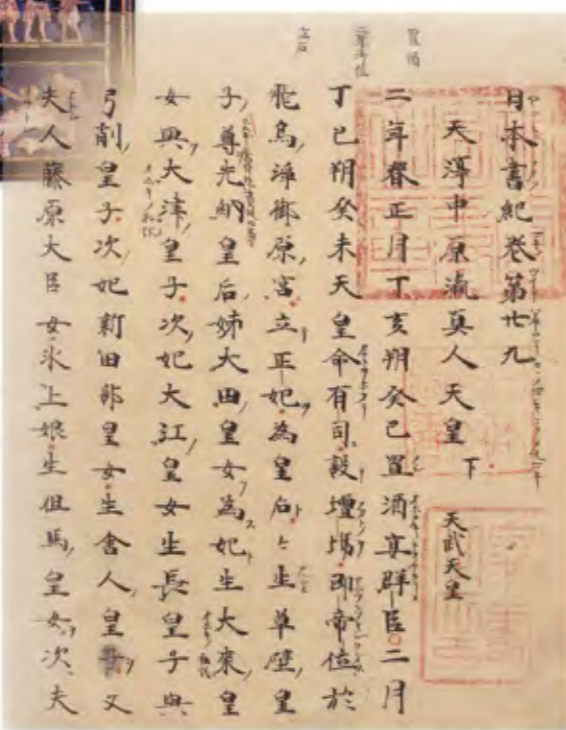
(山田重郎)



◀古代メソポタミアの遠征図(前26世紀)



▲歴史地理学実習(志摩市)



▲『日本書紀』の写本

史学主専攻 History

日本史学コース

授業科目

■日本史概説 ■日本史史料学 ■日本史特講 ■日本史演習 ■日本史実習 ■日本史研究



日本史実習
上:京都府城陽市正道官衙遺跡
下:新潟県燕市長善館史料館

大学で学ぶ日本史学

教授 中野目 徹

大学入学までの日本史は、しばしば暗記科目といわれることがあります。そして、試験のときの正答は一つだけだと思います。

それに対して、大学で学ぶ日本史学では、クラスの全員に一律に覚えてもらうような知識というものは一つもありません。4年間の授業を通して、各自の問題関心に即した研究課題を立て、それぞれの課題にふさわしい史料調査の方法を身につけ、史料に批判と独自の解釈を加えて獲得した各自の見解を、集大成としての卒業論文にまとめてもらいたいと思います。本学ではグローバル人材の養成を目標に掲げていますが、日本史学に関しては日本において研究を極めることが世界で通用するグローバル人材を養成することにほかならないと考えています。

私は3年生になるときの専攻・コース決定届に、その理由を以下のように書きました。

ハーバート・ノーマンの次の言葉をもってそれに代える。「歴史は微妙で複雑な学問であるから、これを粗略に扱うときは必ず人を落し穴に陥れるものである。それゆえ国民が自国の歴史を正しく理知的に認識していることはきわめて大切である」(『ハーバート・ノーマン全集』第4巻、1978年、岩波書店)。

筑波の地でともに日本史学を創造していこうとする学生がコースの扉を敲いてくれることを願っています。



中野目 徹 (日本近現代史、思想史・史料学)

問題意識の高い学生の入学を待っています。
中野目徹編『近代日本の思想をさぐる』(2018年、吉川弘文館)参照。

三谷 芳幸 (日本古代史)

日本史学は「広く深い素養の上にそびえたったものでなくてははいけない」(井上光貞)という精神を受け継ぎたいと思います。



田中 友香理 (日本近代史)

このような時代だからこそ日本史学に取り組みましょう。

日本史学を体系的に学ぶ

本コースでは、日本史学を体系的に学べるように授業が組み立てられています。まず「概説」で基本的な知識を身につけたあと、「史料学」で実践的な史料の読み方を習得します。それを踏まえつつ、専門的な研究方法に触れるのが「特講」、史料の読解に自ら取り組み、他の学生と議論するのが「演習(ゼミ)」です。さらに、歴史の現場を訪れる「実習」もあります。こうした段階的学習のうえに卒業論文の執筆があります。

先輩たちの卒業論文

- ・律令国家による僧尼統制の特質と展開
- ・古代地方社会における「郡雑任」の構成と役割
- ・9世紀における交易管理と唐物
- ・検非違使庁と京内の秩序維持活動
- ・田口卯吉の思想
- ・日露戦後・大正期の日本外交と石井菊次郎
- ・昭和戦時期における思想統制と特高警察
- ・戦後における宮内省改革

コースの声



4年 工藤 弦

高校までの「日本史」と、大学以降の「日本史学」の違いを、皆さんはどのように捉えていますか？よく言われることですが、高校までの「日本史」は「個別の知識の暗記」だ、というのが多くの人が抱くイメージだと思います。

これに対して、大学で学ぶ「日本史学」とは「学問的な方法を体系的に学んでいく営み」と言えるのではないかと私は考えています。

日本史学コースにおいては、「概説」科目でその方法論の基礎と呼べる部分を、また、「日本史学」の基礎となる「史料」をいかに扱うか、どう「読む」かを「史料学」で学びます。そして、第一線で活躍されている先生方の研究の事例から学ぶ「特講」、あるいは実地でのフィールドワークを交えて行う「実習」という授業があります。

こうしたものを踏まえた上で、各自が課題を設定し、それに応じた方法を考え、立論していく営みが「演習」です。これはいわゆる「ゼミ」と呼ばれるもので、日本史学コースの中核とも言えるものです。各自でテーマに即してテキストの読解や史料の蒐集などを行い、レジュメを作って発表をし、質疑応答が行われます。こうしたことを踏まえて「卒業論文」の執筆を行っていくことになるのです。

日本史学コースは、以上のような経験が積める上、大学内外の多数の人々との出会いがあります。皆さんもぜひ日本史学コースで学びませんか？

ユーラシア史学コース

- 古代西アジア史サブコース
- 中国史サブコース
- ヨーロッパ・アメリカ史サブコース

授業科目

- アッカド語初級
- 古代西アジア史演習
- 満洲語文語基礎
- 中国史演習
- ヨーロッパ史概説
- ヨーロッパ・アメリカ史基礎文献講読



上: 古代メソポタミアの文字書(前26世紀)
下: 第一次世界大戦時に発売されたドイツの絵葉書

ユーラシア史学とは

「ユーラシア史学」という言葉に戸惑いを覚えた方も多いのではないでしょうか。従来の歴史学は、日本史学・東洋史学・西洋史学の三領域に区分されてきました。これは皆さんにも馴染み深いものでしょう。しかし私たちはあえてそうした伝統的区分を採らず、ユーラシア史学という耳慣れない独自のコースを設計しました。それはこの三区分別論が、三つの地域の閉鎖性をどこかで前提としているからです。いかにいけばこの区分は、三地域が明確な境界線によって分断され、その閉ざされた空間の中でそれぞれ独自の文明を築いてきたという錯覚を生みかねません。しかし実際はそうではなく、人類ははるか昔から文明をまたぐ広域的な交渉を連続と続けてきたのです。そうしたダイナミックな歴史の側面を切り捨てないためにも、私たちはユーラシア大陸で勃興したさまざまな文明と、そこから地球規模で拡散した諸文明(新大陸や豪州も含む)をも包摂した枠組みを設定することにしました。それゆえユーラシア史学という言葉には単にユーラシア大陸の歴史だけでなく、それをはるかに凌駕するスケールの「人類史」という意味が込められているのです。



山田 重郎 (アッシリア学(楔形文字文書研究))

粘土板に書かれた50万点も発見されている楔形文字文書を史料に古代メソポタミアの都市文明を研究しています。



柴田 大輔 (古代メソポタミア史、楔形文字学)

古代メソポタミアの政治・社会・文化について研究しています。



上田 裕之 (中国近世史)

中国近世の経済・財政について研究しています。既存の枠組みに縛られず、自分自身の眼差しで過去と現在の世界を読み解いていく—そんな挑戦に参加してくれる学生を待っています。



岩田 啓介 (内陸アジア史)

清朝と中央ユーラシアの関係を、多言語の史料を用いて研究しています。中国史の一部としてではなく、満洲やチベット・モンゴルの歴史に正面から向き合ってみませんか。



村上 宏昭 (ドイツ近現代史)

20世紀のドイツの歴史を研究しています。歴史を振り返ると、いま私たちが当たり前だと思っている多くの事柄が、実はつい最近まで存在しなかったことがよく分かります。歴史を研究する最大の魅力です。

コースの声



卒業生 **岩波 彩乃**

ユーラシア史学コースはその名の通り、ユーラシア大陸における多様な歴史について主に文字史料からアプローチし、研究するコースです。その中に「古代西アジア史」、「中国史」、「ヨーロッパ・アメリカ史」の三つのサブコースがあり、自身の興味関心に沿って各サブコースに所属します。

私は古代西アジア史サブコースに所属し、楔形文字文書の読解をもとに古代メソポタミアの歴史について研究しました。三年次には、専門分野におけるトップレベルの研究を間近で学びたいと思い、ドイツのベルリン自由大学へ留学しました。残念ながら新型コロナウイルスの流行により途中帰国となってしまいましたが、たくさんの貴重な経験を得ることができました。筑波大学は交換留学制度も整っているため、やりたいことをとことん追求できる環境だと思います。

大学のカリキュラムでは、初めに「概説」や「アッカド語初級」などの授業によって専門の基礎的知識を学びます。そして「文献学」にて史料・文献の読解力を養い、さらに「演習」(いわゆるゼミ)において先行研究の理解やその内容を議論することで、各自の研究課題を深めていきます。

大学における歴史学は、自分自身で一次史料を読解し、批判・考察し、既存の「歴史」を自らの手で再構築することがメインであり、それこそが最大の魅力ではないかと私は考えます。そして史料読解の精度の高さが、自身の研究の鍵とも言えるはずですが、したがって、自身の専門とする一次史料・文献の言語の学習が、非常に重要になる分野だと思います。もちろん、関連する専門知識の習得も忘れてはなりません。そのような地道な努力を積み重ね、自分なりの解釈を伴った歴史像を真直に築き上げることは、とても挑戦がいのある取り組みでしょう。ぜひユーラシア史学コースへ!

中国史概説はどんな授業?

四千年とも五千年ともいわれる中国の歴史ですが、それは「中国」という決まった枠組みのなかで王朝交替が繰り返されるという単調な物語ではなく、ユーラシア大陸東方を舞台として、さまざまな民族が互いに影響を与えあい、姿を変えながら、数千年の時間をかけて「中国なるもの」を形づくっていったという、非常にダイナミックな歴史です。本講義では、その歴史的展開を古代から近代にかけて見渡します。

先輩たちの卒業論文

- ・古代メソポタミアの知の伝統における『ハンムラビ法典』の伝承
- ・古代メソポタミアにおける供犠占いの準備と遂行
- ・清朝支配初期の新疆南路における回兵の動員—乾隆30年のウシュ反乱を対象として—
- ・戦後内戦期、東北の土地改革における中共地方指導層の役割
- ・アンシアン・レジーム期フランスにおける王権と家族—封印令状から
- ・アメリカにおける「ホロコースト認識」の変遷—ホロコースト教育に注目して

歴史地理学コース

授業科目

- 歴史地理学概説
- 歴史地理学研究法
- 歴史地誌学
- 歴史地理学演習
- 歴史地理学文献演習
- 歴史地理学実習

歴史地理学とは何か

教授【近代日本の歴史地理】中西 僚太郎

歴史地理学とは、あまり聞きなれない名称かもしれませんが。歴史学なのか地理学なのか、という疑問をもつ人もあるでしょう。

かつては、歴史学の補助分野として、歴史の舞台となった場所を考証することなどが、歴史地理学であると考えられていた時代もありました。しかし今日では、歴史地理学は学問の本質論や方法論からは、一般的に地理学の一分野として位置づけられており、地域や空間、景観、環境といった地理学で発達してきた基礎概念をふまえて、過去の人間集団が地表面をいかに組織し、生きてきたかを追究する分野として認識されています。簡単にいえば、地理学の観点から歴史を研究するのが歴史地理学であるといえます。本コースは、全国でも数少ない歴史地理学を専門的に学べるコースです。歴史学とは違った観点から歴史を研究してみたい、現在を研究する地理学とは関心が異なっていると感じる人には格好のコースといえるでしょう。

【メッセージ】

歴史学とは違った視点で歴史を研究してみたい人、デスクワークだけでなく、フィールドワークもしてみたい人に歴史地理学は向いています。史学主専攻のなかでも、フィールドワークを重視するという点では考古学・民俗学主専攻とも共通するところがあり、両主専攻を跨ぐ内容をもったコースともいえます。

コースの声



4年 **寺井 誠**

皆さんは「科学的である」とはということだと思いますか? 科学という単語を聞くと、学校の理科室のような実験室で、白衣を着て薬品を調合する様子をイメージする人がいるかもしれません。しかし、それは科学的方法の一部に過ぎません。

「科学的である」とは、物事を合理的・体系的・実証的に考えていくことをいいます。そして、このようにして考えられた「科学的」な法則は、普遍性と再現性をもちます。簡単にいえば、「条件が揃ってさえいれば、いつでもどこでも何度でも、その事象が発生する」ということを、入念に確認しながら発見していくのが科学的思考であるというわけです。

本コースの歴史地理学が属する地理学という学問は、まさにこの科学に依拠しています。歴史地理学では、高校までで暗記事項として、そのまま皆さんが受け取ってきた歴史事象に対して、科学的な目線を向けながら、史料調査や地図分析、そしてフィールドワークといった手段を用いて専門的に研究していきます。専門的知識を備えた先生や上級生と実際に現地に赴くフィールドワークは、行動する中での生きた学びであり、大学ならではのといえるでしょう。そして本コースでは、フィールドワークの中でも、現地の人々に直接話を聞く「聞き取り調査」を重視しています。これにより、人々の実際の暮らしの様子や、地域に対する認識を基にしたオリジナルな研究ができます。暗記してきた歴史について、科学的な探究を行いたいという志向を持つ方を、本コースでは歓迎しています。ぜひお越しください。



上: 歴史地理学実習—南房総市—
下: 歴史地理学実習—館山市—

歴史地理学実習はどんな授業?

歴史地理学の研究は、室内でのデスクワークと野外でのフィールドワークの両方から成り立っています。歴史地理学実習では、事前学習をふまえて調査地に赴き、野外での景観観察や聞き取り調査などの方法や、現地ではか入手できない文献資料(古文書など)の調査方法を学ぶとともに、調査結果を報告書としてまとめる能力を養います。

先輩たちの卒業論文

- ・前橋中心商店街の変容—1970年代以降を中心に—
- ・近代以降の北関東における繊維産業の展開
- ・島根県雲南市大東町における茶業地域の展開と地域的特性
- ・横須賀市における旧軍用地景観の変容
- ・中山法華経寺門前町における空間変容—昭和期を中心として—
- ・札幌・小樽・余市における果実酒産業の展開
- ・戦後東京特別区における結核死亡率の減少と衛生行政
- ・地方都市における住宅地拡大に関する歴史地理学的考察

考古学・民俗学主専攻 Archaeology & Folklore

■先史学・考古学コース ■民俗学・文化人類学コース

現場から考える

民俗学 武井 基晃

考古学・民俗学主専攻は、先史学・考古学コースと、民俗学・文化人類学コースからなります。これらの学問はいずれも「人類学=Anthropology」という総合的な学問分野に統合できます。人類学とは、過去から現在そして未来において、この地球上の様々な場所に生きた人類について、そのあらゆる活動や思考などを研究対象とし、人文科学・社会科学・自然科学の知識を総動員して明らかにすることを旨とする学問分野です。

研究・調査の手法をラボラトリーワーク、ライブラリーワーク、フィールドワークの大きく3つに分けたとき、先史学・考古学・民俗学・文化人類学にとって最も重要な調査手法は「フィールドワーク」です。先史学・考古学では、遺跡の発掘調査を通して、長い時間の中で蓄積されてきた遺構・遺物などの物質資料から、人類の行動様式や社会構造を明らかにします。また民俗学・文化人類学の研究も、実際の生活や儀礼などの場に足を運んで参加する現地調査を通して、そこでの観察や対話から、現在を生きる人類の多様な営みや暮らしの実態を考察します。

このようにフィールドワークから得られた現場の生の資料、何物にも代えがたい一次資料に向き合ってはじめて、独創的でおもしろい研究が可能になるのです。その際に、遺物の成分や年代を特定するための専用機材を駆使したラボラトリーワーク、対象地域の過去の歴史資料や学問分野の先行研究を渉猟するライブラリーワークも並行して行われます。

以上のように考古学・民俗学主専攻は、人類学を実践するために設置された、日本では数少ない特色のある専攻です。ぜひこの専攻で学ぶことができる広い視野と豊かな思考を礎に、次の時代を切り拓いてください。



▲民俗学実習(秋田県)



▲トルコ・ハサンケイフ・ホック遺跡の調査



▲考古学実習(土浦市王塚古墳)

考古学・民俗学主専攻 Archaeology & Folklore

先史学・考古学コース

授業科目

- 先史学概説 ■考古学概説 ■考古学方法論 ■物質資料研究法 ■先史学特講 ■考古学特講
- 先史学・考古学演習 ■先史学実習 ■考古学実習

先史学・考古学とは？

考古学=Archaeologyは、遺跡発掘などのフィールドワークで得られる物質文化資料を分析することで、過去の人間社会の営みを知ろうとする学問です。それに対して先史学=Prehistoryは、生態学や環境科学なども動員して、人間と自然環境との関わりを中心に置いて人類史を復元しようとする傾向があります。ただし、先史学も考古学も、おもに遺跡や遺物の研究を通じて過去の人間社会にアプローチすることに変わりはなく、1つの研究分野と考えて問題ありません。

先史学や考古学にとって、遺跡の踏査や発掘調査は研究資料を得るための最も重要な方法です。しかし遺跡は一度発掘してしまえば、発掘という研究機会を二度と再現することはできないという性格を持っています。本コースでは、厳密な作業と斬新な発想にもとづいて、たった一度だけの発掘の機会を歴史の再構成に生かせる研究をおこなうことができる学生を育てたいと考えています。



三宅 裕 (西アジアの先史考古学)

知識が増えていくと、まだわかっていないことが増えてくるようになります。その過程こそが大学での学びです。



滝沢 誠 (古墳時代の政治と社会)

考古学は自らの手で歴史を解き明かす点に大きな魅力があります。皆さんと一緒に発掘に行きませんか？



谷口 陽子 (考古科学・保存科学)

ここでは誠実にモノに対峙する時間と場があり、そしてそれを咀嚼し栄養にすることができます。広く深く思索しつつも楽しくかけがえのない時間を過ごしてください。



前田 修 (西アジア新石器時代の社会・石器研究)

モノには人間の思考や行動を形作る力が秘められています。遺跡や遺物として残されたモノを研究することで、過去の人々や社会がどのように作られたのかを覗いて見ませんか？



板橋 悠 (骨や植物遺存体の化学分析、古食性復元、年代測定)

考古学が対象とするモノの向こうには、作った人・使った人・贈られた人・本人など様々な人々の活動と思考があります。過去の人々を想像し、その姿を自分の手で実証していく楽しさを共有できればと思います。

コースの声



卒業生 浅野 孝利

「考古学」と聞いて、最初に思い浮かぶのは「発掘」でしょうか。発掘といっても、考古学で扱うのは恐竜やアンモナイトの化石ではなく、堅穴住居や古墳といった「遺跡」、土器や石器といった「遺物」です。考古学は、これらモノに残された痕跡をひとつひとつ丹念に調べることで、人間の営みを探っていく学問です。その研究対象は先史時代から現代に至るまで幅広く、世界中のあらゆる場所に及びます。人間の活動すべてを研究の対象とするとも言えるかもしれません。

筑波大学には、西アジアや古墳時代、保存科学や年代測定といった多岐にわたる専門をお持ちの先生方がいらっしやるので、授業などを通して幅広い分野について学ぶことができます。学生も各々自由に研究テーマを決めることができ、先生方や上級生もそれをサポートしてくれるので、自分に合ったテーマを設定して興味を赴くままに研究することができる環境が整っています。また、実習授業や先生主導の調査、近隣の自治体が行う調査などに参加することで、実際に発掘や測量、出土遺物の整理作業に関わることができ、実践経験を積む機会にも恵まれています。

先史学・考古学では実際にモノに触れることがとても大切です。先史学・考古学コースに興味のある人は、時間のあるときには博物館や遺跡を訪れてみることをお勧めします。当時の人がどのように暮らしていたのか、肌で感じることができるでしょう。もしかしら、いままで誰も気付かなかったような新しい発見を、あなたもすることができるかもしれません。



上:考古学実習での古墳の発掘(土浦市)
中:遺物実測の様子
下:カップアドキア(トルコ)での顔料分析作業

考古学概説はどんな授業？

人類の始まりから現代までを扱う考古学とはどのような学問なのか(春学期)、日本考古学ではいま何が議論されているのか(秋学期)について理解を深めていきます。

1. 考古資料とは何か
2. 年代を探る
3. 機能を推定する(以上、春学期)
4. 列島社会の統合と国家形成
5. 墓石から探る家族の歴史
6. 考古学と現代(以上、秋学期)

先輩たちの卒業論文

- ・後期旧石器時代の狩猟と洞窟壁画
—フランス南東部の事例を中心に—
- ・古代エジプト新王国時代の壁画にみられる耳飾りの研究
- ・江戸城築城における城郭石材の運搬
—東伊豆石丁場を中心に—
- ・太平洋戦争末期における旧日本軍・掩体壕の様相
—分類と分布の関係性—
- ・弥生時代における鳥形意匠の変化とその背景

民俗学・文化人類学コース

授業科目

- 民俗学特講 ■ 比較民俗学演習 ■ 民俗史料講義 ■ 民俗学実習 ■ 民俗学調査法
- 文化人類学講義 ■ 文化人類学演習 ■ 文化人類学実習 ■ 文化人類学調査法



民俗学実習

民俗学・文化人類学の学び方

コース教員一同

民俗学は儀礼・信仰・社会・経済などの伝承資料から日常の暮らしと文化を探究し、文化人類学は異文化の営みと我々自身の営みをシメトリックに研究する学問です。いずれもフィールドワークに基づいて、価値観を異にする人々の行動様式を生活文化の中で理解します。そのため専攻する学生は5日間の調査実習に2回参加し、その体験から自分自身で問題を発見し作業仮説を打ち立てて研究を進めることになります。

民俗学では対象の歴史的な深みを考察するため日本史学と連携した科目を組んでいます。文化人類学では古典的な理論から最新の科学技術論に至るまで幅広く批判的に学びます。こうして育まれた能力を用い、身近でありながら人間にとって根源的な経験を記述し理論的に考察する卒業研究に取り組みます。



中野 泰 (民俗学「日本・東アジアの村落・生業研究」)

異なる社会における生活経験の魅力を民俗学から考えてみましょう！



武井 基晃 (民俗学「歴史を伝え、神々と交渉する人々」)

民俗学の魅力は、何気ない日常の中にある問いの答えを、人々との対話や体験の共有から見つけていくことです。



中村 友香 (文化人類学「南アジア・ネパールの医療人類学」)

異なる文化や生活を送る人々の中に身をおくことを通じて、自分の日常における違和感や不思議について、また「人の生き方」について一緒に考えましょう。

コースの声

4年 沖田 裕紀



皆さんは民俗学や文化人類学を聞いたことがあるでしょうか。聞きなれないと思う方もいると思いますが、実はかなり皆さんの身近なところにある学問です。

民俗学とは一般の人々の日常生活や文化を研究する学問です。自分では当たり前のことと考えていたことが、よそに出てみると違っているということがよくあります。例えば集団をグーとパーで分けるときあなたは何と言いますか？私は「グッとパーでわかれーましょっ」です。違う！と思う方が相当数いるのではないのでしょうか。このような文化的な違いはこれに限らず生業、家庭、伝承、行事、芸能と極めて多くの分野にあり、それぞれ地域の歴史や特性に応じた由来があります。それを個別に調査し明らかにしていきます。

文化人類学は人間とは何かについて考える人類学のうち、人間という種の特性とも言える「文化」からアプローチを試みる学問です。民族文化や慣習からほど遠いと思いがちな私達現代人も、思った以上に普段意識しない文化的な慣習や考え方に従って生きており、論文を読むとはっとさせられます。

双方の学問の共通点はフィールドワークを行うことです。フィールドワークとは調査対象地域に実際に入って調査を行うことです。今生きている文化、そしてそれを実践している人に会うことで文献だけでは手に入らないリアルタイムの知識を得ることができます。このコースでは2年生から実習の授業があり、フィールドワークの方法を学んだのち学生が自分でテーマと地域を選んでフィールドワークに出かけ、その成果を報告します。そしてここから3年生以降は卒論のための調査に入ります。私はつくば市の特性に着目してここで開かれている祭り、とはいっても寺社で行うようなものではなく「市民祭」と呼ばれることもある現代ならではのパレードやステージ、露店のある祭りを調べています。祭り自体中々行えない時勢ではありますが、主催者や出演者などに話を聞きながら伝統的な祭りとの違いやつくば市の特性との関連を明らかにしようとしています。フィールドワークでは沢山の人の出会いがあり、それぞれの生き様があります。研究は相手が人間ですのうまいかないことも多いです。それでも人と関わり、それから少しずつ学んでいく中で自分自身もまた変わっていくような体験をすることができるでしょう。

普段の「当たり前」を疑ってみましょう。そうすることで今まで見ていなかった世界が見えたり、世の中の目に見えない仕組みが理解できたりするようになります。生活に最も密着した学問—民俗学・文化人類学コースに、ぜひ触れてみてください。

調査法と実習とは？

民俗学・文化人類学コースの学生(主に2、3年生)は年に1度、日本国内のどこかで調査をします。そこでのフィールドワークを通して生活文化を考察し、人々の思考と行動にふれ、自身の文化理論を試みます。そのために事前に「調査法」の授業で十分な準備を積み重ね、それから実際に「実習」調査に向かいます。

先輩たちの卒業論文

- ・神社の授与品から見る信仰の現在
- ・民俗変化における担い手の意識
- ・SNSの投稿から見る青年会の運営
- ・インターネットを通じたコミュニケーションのリアルとヴァーチャル
- ・見出す自分、見出される自分
- ・音楽を「身につける」過程の人類学的考察

言語学主専攻 Linguistics

- 一般言語学コース ■ 応用言語学コース ■ 日本語学コース ■ 英語学コース



▲多言語で書かれたサイン



▲読み手の視線を測定する英文読解実験の様子



▲音声実験室での脳波測定の様子



◀狂言記(元禄12(1699)年刊)

語学と言語学

教授[SEM語学] 池田 潤

専門を聞かれて「言語学です」と答えると、「何力国語話せるんですか?」と聞かれることが多い。これに関して村上龍は「誤解されがちなことだが、言語学と語学はまったくの別物」(『13歳のハローワーク』幻冬舎)と述べているが、同感である。車にたとえるなら、語学の達人はかつてよく車をあやつるレーサーである。これに対し、言語学者は最速のレーシングカーを開発するために空気力学やエンジンの動力性能を研究するエンジニアに似ている。エンジニアとレーサーは異なる才能で、仮に車がうまく運転できなくても優秀なエンジニアになることは可能だ。

学びにたとえるなら、ことばを勉強するのが語学で、ことばを研究するのが言語学と言うこともできる。ことばを勉強する場合、文法はすでに分かっているという前提に立ち、学習者は文法書等書かれた文法を覚えていく。このような文法を規範(prescriptive)文法と呼ぶ。それに対し、ことばを研究する場合、文法には分からないことがいろいろあるという前提に立ち、言語データに基づいて文法を自ら発見し、描き出していく。このような文法を記述(descriptive)文法と呼ぶ。

ことばに対する関わり方を規範的なものから記述的なものへと転換させたときに言語学が始まる。その先には、知っているつもり日本語や英語を再発見したり、初めて出会う言語を解きほぐしたり、個々の言語を越えて言語の本質を考究するなど、言語に関するさまざまな発見が待っている。そうした発見を社会や教育に役立てる途も広がっている。

一般言語学コース

授業科目

- 実験音声学
- 歴史言語学
- 中国語学講義
- ドイツ語学演習
- 仏語意味論
- 露語文法論

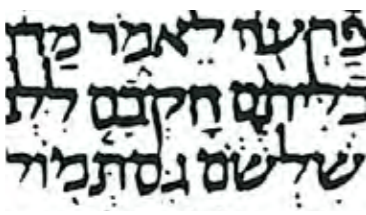
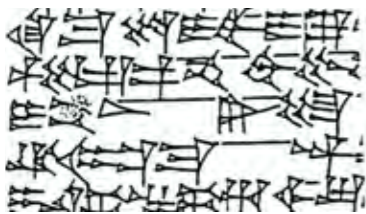
言語を通して人間に迫る

教授 [セム系言語の歴史研究と現地調査] 池田 潤

言語のない世界を想像することは困難です。言語によって私たちは世界を捉え、ものを考え、思いを表現し、社会生活を営んでいます。

このように、言語は人間が人間であるために欠くことのできない重要な営みであるにもかかわらず、普段は単に伝達手段としてしか受けとめられていません。しかし、幼児はどうして言葉を喋るようになるのか、音声や文字、あるいはことばの意味は脳の中でどのように認知されているか、ことばは時間とともにどう変化するのかなど、探求すべき問題はたくさんあります。

一般言語学コースは、特定の言語を通して、あるいは複数の言語を対象として、言語現象を探求するコースです。担当教員は、ヘブル語、アッカド語、中国語、ドイツ語、フランス語、ロシア語等を専門にしています。本コース所属の学生は、例えば、個別の言語の枠にとらわれず、複数の言語を比較・対照する研究を行うことができます。あるいは、1年次に初めて習う外国語を基礎として、その言語の構造や規則、背景を成す文化等についての理解を更に深め、中国語、ドイツ語、フランス語、ロシア語のスペシャリストを目指すこともできます。



上: 楔形文字
中: 旧約聖書の写本
下: 音声の音響分析(サウンド・スペクトログラム)



池田 潤 (セム系言語の歴史研究と現地調査)
私は人文学類で言語学とセム系言語に出会いました。以来、言語を通して人間とは何なのかを考えています。



黄 賢暉 (音声学、日韓対照研究)
日本語と韓国語で子音母音の音声やイントネーションがどういうふうに見える、人々の知覚にどのような影響を及ぼすかを研究しています。



佐々木 勲人 (中国語文法研究、日中対照研究)
ことばの分析を通して中国人のもの見方や考え方の特徴を明らかにしています。



大矢 俊明 (ドイツ語・英語・日本語の対照研究)
外国語を楽しみ、また考えながら勉強しましょう。じっくり考えることで、複合的な視点が生まれてきます。



住大 恭康 (現代ドイツ語の意味論・語用論)
何が、言語表現の正しさ、適切さを左右するのか? ドイツ語を手がかりにその答えを探してみよう。



白山 利信 (露語学、言語政策論)
ロシア語の美しい響き、精緻な体系を持つ文法、ロシア語が話される中央ユーラシア独特の文化世界。魅力満載です。

コースの声



4年 軍司 真希

私たちは、普段から、コミュニケーションを取ったり、物事を考えたりするのに、何気なく言語を使っていますよね。しかし、「日本語や英語って、どんな言語なの?」「世界中にはいろいろな言語があるけれど、それらは全く違うの?」「そもそも、言語って何?」などといった問いには、どのように答えたらよいでしょうか。

それを、分析・検討していくのが、「言語学」です。一般言語学コースでは、日本語や英語に限らず、ドイツ語やフランス語、ロシア語など、多くの言語に触れることができます。さまざまな言語を比較することで、それぞれの言語の特徴や規則性を見出し、モノの捉え方の違いに気づくことができます。

私は、一般言語学コースの中で、独語学を専攻としています。授業では、ドイツ語で書かれた論文や、文学作品、絵本などを活用しながら、文構造がどのように構成されているか、文脈と発話者との間にはどのような関係性があるかなど、さまざまな観点から分析していきます。私は、もともとドイツ語を語学として少し学んでいましたが、大学に入ってから言語学として学んでいく中で、今まで知らなかったドイツ語の新たな側面を知り、より面白さを感じています。

私は、ドイツ語を中心に言語学を学んでいますが、一般言語学コースの中では、10言語ほどの言語を扱っている人や、音声や脳波の解析を行なっている人などもあります。さまざまな言語学の分野に特化している先生方がいらっしゃるの、それぞれの興味に従って柔軟に学ぶことができるのが、一般言語学コースの魅力です。特定の個別言語に興味がある人も、言語を幅広く扱いたい人も、ぜひ一般言語学コースへ! 楽しく、言語を探求していきましょう。

言語学概論はどんな授業?

- 世界にはいくつの言語があるのか。
- それらはどれほど多様なのか。
- なぜこんなに多くの言語があるのか。
- 言語が異なっても人は分かり合えるのか。
- そもそも言語とはいったい何なのか。
言語学概論ではこうした素朴な疑問を掘り下げるとともに、どんな言語でも分析できる知識と技術を身に付けます。

先輩たちの卒業論文

- ・A Cross-Linguistic Study of Counterfactual Wish Expressions
- ・非線形的表記の通時的研究
- ・「再一次v」と「再v一次」について
- ・方言資料から見た中国語の持続アスペクト
- ・マンガに見られるオノマトペのドイツ語への翻訳手法及び考察
- ・フランス語の「ユーモア」に関する言語学的研究
- ・リトアニアにおけるロシア語の使用実態について
- ・ウクライナのベッサラビア・ブルガリア人の言語・文化状況について

応用言語学コース

授業科目

- 応用言語学概論
- 応用言語学講義I~IV (応用言語学、教育言語学、社会言語学、文章論)
- 応用言語学演習I~IV (教育言語学、社会言語学、文章論)
- 応用言語学特講I~II (教育言語学、社会言語学)
- 外書講読

従来の学問領域の壁を飛び越えた、学際的言語研究

教授 平井 明代



応言の小道を探索しよう

応用言語学は、個人と社会のレベルで、言語現象を多角的・实际的に分析し、問題を解決することを目的とする学問です。本応用言語学コースでは、英語教育にかかわるさまざまな事象を取り扱う英語教育学、社会と言語の関係を研究する社会言語学、文章や会話の仕組みを研究する文章・文体論を主要な領域にしています。英語指導法や評価法に関わるさまざまな実験や調査をしたり、実際の談話を録音・書きおこして詳細に分析したり、文献からさまざまな文体を比較したりと、その手法はさまざまです。ぜひ、本コースで応用言語学の魅力を体験してください。



卯城 祐司 (英文読解プロセス・英語教授法)

英文が「読めなかつもり」の謎を解くため、読解プロセスの解明とモデルの構築を目指し、実験を続けています。



平井 明代 (英語教授法と言語評価の研究)

発信能力や批判的思考を伸ばすためにICTを利用した指導法や言語テスト研究をしています。



高木 智世 (社会言語学・ディスコース研究・会話分析)

社会における言語使用のあり方を具に見ることを通じて、言語の社会的基盤、そして、人間の社会性とは何かを考えてみましょう。



小野 雄一 (テクノロジーを活用した言語研究)

最近はや々なツールを用いて多様な言語資料を分析し、言語習得(学習)を促します。言語習得理論とICTを活用した効果的な外国語教育について考えていきましょう。



田川 拓海 (日本語学・文章研究)

現代の多様化した文章を見ることで「書きことば」「話しことば」について考えてみよう。



土方 裕子 (リーディング・ESP(特定目的のための英語))

日本人学習者が英文を読む上で躓く要因や、職業英語のカリキュラム開発に興味があります。オリジナリティの高い研究と一緒に目指しましょう。

コースの声



卒業生 川上 夏海

「言語によって我々は世界を捉え、ものを考え、思いを表現し、社会生活を営んでいる。」入学し、最初の授業で出会った言葉です。私は最初から言語学を専攻しようとして入学した訳ではなかったため基礎的な知識もありませんでしたが、この言葉聞いて、今まで自分が感じたこと、考えたこと、過ごした時間の全てに言語が関わっていたことが分かり、そんな自分にとって「一番身近」な学問の分野に飛び込んでみたら面白いんじゃないかな、そんな理由で言語学を専攻にしました。

言語学の中でも応用言語学の研究分野は英語教育から社会言語学まで多岐にわたっていて、先輩方や同級生の卒業論文のタイトルを見て「そんなことも研究のテーマになるんだ」と驚くこともよくあります。私は社会言語学コースでしたが、卒業論文の執筆の際には、考えれば考えるほど「こういう事象も関連しているかもしれない」「こういう感じ方をすることもできない」と社会に散らばるいろいろな「可能性」と繋がることができ、大変ではありましたが楽しかったです。

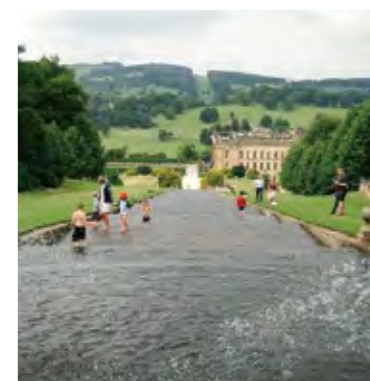
好奇心旺盛な人にこそ、応用言語学コースをお勧めします。きっと興味深く有意義な時間になると思います。

応用言語学講義IVはどんな授業?

現代日本語を対象にした文章研究について、どのような手法やテーマ、課題があるのかを学びます。文字言語にはどのような特徴があるのでしょうか。新聞、小説、雑誌、ブログ、といった媒体による違いや共通点にはどのようなものがあるのでしょうか。TwitterやLINEに書かれることばは「書きことば」と言えるのでしょうか。実際の文章の観察を通して言語学的に考える方法と基本的な知識を身に付けます。

先輩たちの卒業論文

- ・The Effects of L1 Use on Speaking Performance by EFL Learners at Different Proficiency Levels
- ・Oral Reading by EFL Learners: Effects of Silent Reading, Reading While Listening, and Slash Reading
- ・Effects of text cohesion on Japanese EFL reading process and comprehension
- ・アスリートを対象としたインタビューのディスコース分析
- ・振り込め詐欺における説得の技法の会話分析
- ・聴覚障害学生と健聴学生との相互行為における修復の組織



上: 看板からだって文化と語彙を観察する
下: 応言の思索の階段を上ってごないか

日本語学コース

授業科目

- 日本語学概論
- 日本語音韻論
- 日本語文法論
- 日本語史
- 日本語学講読
- 日本語学演習



盗人：びょうびょう(犬の鳴き真似)。
主人：鳴いたは鳴いたは(笑)。(狂言「盆山」より)



日本語学演習Ⅲの授業

日本語についてどれだけ知っていますか？

私たちは、当たり前のように、日本語を話したり、読んだりしています。でも、日本語について、実際にどのくらい知っているのでしょうか？ 外国の人に、「女っぽい」と「女らしい」は意味がどう違うのかとか、「京都まで行く／京都に行く／京都へ行く」はどう使い分けるのかなどと聞かれても、なかなか説明することができないでしょう。古文を読んで、昔の日本語は、現在の日本語とずいぶん違うようだと感じていても、それがどのように今の日本語の姿になったのかについては、ほとんど知らないのではないのでしょうか。

日本語学では、万葉集や源氏物語といった昔の文学作品の日本語から、今行われている日常の会話まで、すべての日本語が研究対象になります。どんな音で話されるか、どんなきまりに従って文は作られるのか、どう書かれているのか、語の意味はどう変化しているのかなど、さまざまな方面から考えていきます。なにより、言葉について、ちょっと気にかけてみる、どうしてなのだろうと自分自身で考えてみるというところから、日本語学が始まります。



大倉 浩 (狂言資料による中近世の日本語史)

「古典文法を楽しく教えられる高校教師」を目指して大学に入りました。今はそういう教師を大学で育てています。



橋本 修 (現代日本語・古代日本語の文法(意味論))

脳内現象としても、社会現象としても極めて興味深い存在である日本語を、多方面からつき回しましょう。



那須 昭夫 (音声学・音韻論)

日本語の音声・音韻、とくにアクセントなどの韻律現象について研究しています。



和氣 愛仁 (現代日本語文法、人文情報学)

文系・理系という単純な二分法はすでに過去のものになりつつあります。両者を橋渡しするために何かが必要か、一緒に考えてみましょう。



菅野 倫匡 (文字・表記論、計量語彙論)

日本語の文字・表記や語彙について研究しています。言葉を数えることによって見えてくる面白さや難しさを体験してみませんか。

日本語学講読-Iaはどんな授業？

日本芸能史を映像とともにたどり、中世に成立した狂言という喜劇に注目して、セリフに使われる中世・近世の日本語を考察します。原本資料が扱えるように、変体仮名の読み方を身につけ、授業でも江戸時代の版本をコピーで読みます。貴重書が豊富な本学図書館資料の見学も行います。

先輩たちの卒業論文

- ・平板形容詞アクセントの「起伏化」再考
- ・ウェブ検索による外来語表記のゆれの研究
- ・学校教科書に出現する論理展開語と辞書記述
- ・副詞的成分「普通に」について
- ・現代日本語における連体節マーカー「な」の研究
- ・自然談話における「なるほど」の用法分析
- ・接尾辞「ばい」の意味・用法
- ・愛媛県東予方言における文末詞「カイ」の機能
- ・近世上方語における複数接尾語
- ・平安時代における形容詞と係り結びとの関わり

コースの声



卒業生 鈴木 あすか

日本語なんて私たちが赤ちゃんの頃から話しているし、これ以上学ぶことなんてある？これは日本語学という言葉初めて聞いた友人の感想です。ちなみに、答えは当然「ある」です！例えばどんな謎があるでしょう？少し例をあげてみます。

「古代の日本語は話し言葉として今も残っているの?!」「昔の犬の鳴き声は『ワンワン』ではなかった?!」「タバコと同じように菊も外来語なの?!」「関西弁のアクセントには規則性があるの?!」

答えを知っているものはあったでしょうか。わからなかった人も安心してください。これらの謎は全て日本語学の授業で答えがわかります。このように、私たちがよく知っているようで知らない謎が日本語にはたくさん潜んでいます。そして、日本語の中に隠れた謎を自分で探り、解き明かすのが日本語学です。

もちろん、日本語学コースを卒業した私でも、入学した時から日本語の謎を見つけて研究をしていた訳ではありません。個性あふれる先生方が講義される日本語学の授業を受けていく中で、謎を発見していききました。

そして、日本語学コースを卒業した私は、現在公立の高校で国語の教員をしています。日本語学から学んだ日本語の面白さを生徒に伝えたいと思ったからです。生まれた時から身近で、日本の生活になくはならない日本語だからこそ、将来役立てる方法は無限大です。自分が解明した日本語の謎が将来どのように役立つかまで考えさせてくれるのも、日本語学コースをおすすめするポイントの一つです。気になった人はぜひ日本語学コースで学んでみてください。

英語学コース

授業科目

- 英語学概論
- 英語文法論・統語論
- 英語意味論・語用論
- 英語音韻論・形態論
- 英語論文講読
- 英語学演習
- 英語学論文演習

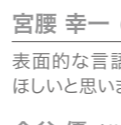


英語学演習のひとつコマ



加賀 信広 (意味役割構造に基づく構文論研究)

じっと見ているときれいな規則性が透けてくる。そんな言語研究の醍醐味を一緒に味わってみましょう。



宮腰 幸一 (理論言語学)

表面的な言語現象の背後にある法則を科学的に解明する楽しさを学んでほしいと思います。

金谷 優 (英語学、構文文法、語用論)

ことばは「人の心をのぞく窓」とよく言われます。人間の認知の仕組みとことばの関係を考えていきましょう。



矢澤 翔 (音声学・音韻論・第二言語習得)

普通教育ではあまり学ぶ機会のない英語の音のしくみに、ぜひ学んでみませんか。

英語学概論はどんな授業？

英語学というのは、英語を対象とする言語学のことです。言語学とは、人間の用いることばの仕組みを明らかにする学問のことです。ことばには、音声があり、音声は意味を伝えます。そして、音声と意味を結びつけるのが文法です。音声にも意味にも文法にも一定の規則性があります。だからこそ、人間はことばで意思疎通ができるのです。英語をもとに、ことばの規則性について考え、英語自体への理解も深めることを目的とする授業です。

先輩たちの卒業論文

- ・A Pragmatic Study of English Inversion
- ・A Cognitive Linguistic Study of Idioms in English
- ・A Study of the Prefix over- in English
- ・A Semantic Study of the Preposition over
- ・A Syntactic Approach to Psychological Predicates in English
- ・A Lexical Network Approach to the Verb *Take* in English
- ・A Semantic Study of Degree Achievement Verbs with the Derivational Suffix -en in English
- ・A Study of Middle Constructions in English
- ・A Semantic Study of Content Clauses in English

コースの声



卒業生 大堀 誠弥

皆さんは「英語学」と聞いて、どんなことを思い浮かべるでしょうか。難読な英文読解やTOEIC、英検において高得点を得るための勉強と思い浮かべる人もいるでしょう。しかし、実際はそうではありません。

英語学とは、「英語」の本質、さらには英語を通して、人間の心理を紐解いていく学問です。文法や形式、音韻、意味及び歴史など、すべてを含めた多角的な視点から「英語」を分析・考察していきます。そのため、英語学を専攻したからといって、スピーキングやリスニング能力が上達するとは限りません。しかし、先生方の講義や自らの研究を通して、高校までとは全く異なる視点から英語に触れることで、新しい発見や自分が知らなかった「英語」の側面をみることができます。そして、それは必ず英語力の向上を促してくれます。また、先ほどスピーキングやリスニングの上達は見込めなかったが、英語学では長期や短期に関わらず海外留学を推奨しています。そのため、留学によって英語でのコミュニケーション能力の成長、英語学の研究に対するヒントを得ることも可能です。さらに、研究や論文執筆を通して、自分の興味のあることを徹底的に追及する探求力や自分の考えを他者に納得できるように記述を行う論理的思考力を身に付けることができます。この能力は社会に出てからも必ず役に立つものです。

普段の生活中や授業をうけているうえで、英語に対して何故？どうして？と思うことはないでしょうか。その小さな問いを無視しないでください。その疑問が大学では探求する対象となります。筑波大学の英語学の先生方は様々な分野において精通している先生ばかりです。自分の興味・関心がある事象に関しても熱心にご指導いただけます。安心して研究を行うことができますよ。

卒業生の進路 就職と進学



主な進路 (法人格等は一部省略、令和元～3年度)

製造業

旭化成 花王 昭和シェル石油
住友林業 大王製紙
ダイキン工業 日本製紙
長谷工コーポレーション
日立製作所 ファーストリテイリング
ブリジストン 三井造船
ヤマハ発動機 久光製薬
トヨタ自動車 ユニクロ

パナソニックシステム HIS
浜銀総合研究所 マイナビ
三井不動産レジデンシャル
旭化成不動産レジデンス
吉本興業
リクルートマネージメントソリューションズ
アクティブアンドカンパニー

その他

日本生活協同組合連合会
日本郵政

小売・食品業

イオンモール カスミ
サッポロビール ニトリ ノジマ
ローソン セブンイレブン・ジャパン

商社・流通業

近鉄エクスプレス
JX日鉱日石エネルギー
全日空商事 三越伊勢丹
そごう・西武 三菱商事

金融・保険業

イオン銀行 常陽銀行 静岡銀行
筑波銀行 日本政策金融公庫
ゆうちょ銀行 三井住友銀行
三菱東京UFJ銀行 りそな銀行
住友生命保険 野村證券
損保ジャパン日本興亜
第一生命保険 日本生命保険
オリックス生命保険
みずほフィナンシャルグループ

通信・出版業

共同通信社 上毛新聞社
テレビ朝日 朝日新聞社
読売新聞社 福島民友新聞社
日本経済新聞社 毎日新聞社
日本放送協会 NTTドコモ
NTT西日本 極東テレビ

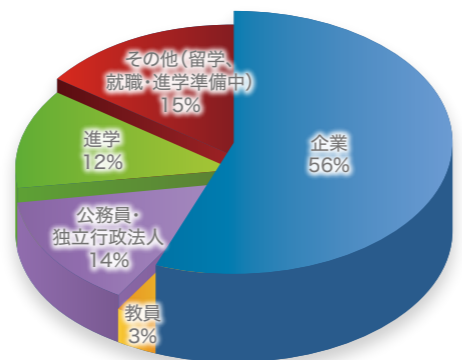
運輸業

全日本空輸 JR北海道
JR東日本 日本貨物鉄道
日本通運 日本交通 関東鉄道

サービス業

オリエンタルランド KADOKAWA

令和3年度卒業生の進路



人文学類におけるキャリア支援

1年生は入学した春学期にフレッシュマン・セミナーが必修となっており、クラスごとに担任教員がついて大学生活への導入を図ります。ここではキャリア形成への導入も重視しており、4回程度を合同フレッシュマン・セミナーと位置づけ学外から講師を招くなどして早期からキャリア形成への意識を高めています。

また、全学では「キャリアデザイン」の科目が学年別に開講され、多くの人文学類生が履修します。これらの科目では、受講者間でのディスカッションやプレゼンテーションが重視されます。

ほか、筑波大学では「つくばキャリアポートフォリオ(愛称CARIO)」というツールをキャリア形成支援の中核としています。これは50種類以上のシートにより大学生生活を記録し、就職や進学までスムーズにつなげようとするものです。

一般企業就職への支援

人文学類独自に学生のための就職支援企画を行っています。外部講師による就職セミナーを複数回、また内定を得た4年生による「人文学類生のための就活最新情報取得会」を開催しています。学類での説明会のほか、数百家が参加する全学での学内企業説明会も行われ、有名企業に就職した多数のOB・OGから学内で直接話を聞き、他大学の学生より有利な就職活動を行うことができます。

公務員・独立行政法人職員試験への支援

こちら、人文学類就職支援企画としてOB・OGによるセミナーや内定を得た4年生による報告会を開催しています。全学でもセミナーや格安で受講できる対策講座が準備されています。また、上記の学内企業説明会には一般企業だけでなく官公庁や独立行政法人からも参加があり、多様な話やアドバイスを聞くことができます。

中学校・高等学校教員採用試験への支援

本学ならびに人文学類が伝統的に強みを持つ進路です。OB・OGを招いたセミナーを学類で開催しているほか、全学でも教育界で活躍する本学関係者を招いた説明会などが行われます。

卒業生からのメッセージ



平成30年度卒(民俗学)
鉄鋼業勤務 大橋 美朝

人文学類は、広大な領域の人文学を自由に学べる環境です。膨大な資料や書物の中から自分自身の生きる哲学を見出していくことができるでしょう。その中で、あえて私は文字資料からは見えない領域を扱う民俗学を専攻に選択しました。フィールドワーク経験を通して、私は人の人生の多様性と、社会の複雑さを知りました。抽象的な理想では片付けられない、込み入った事情を抱えながら生きている人々との対話を繰り返すことで、目の前の現実をただありのままに見ることの大切さを痛感しました。

学生時代を、自分の学びたい事柄や好きなことばかりに費やさないほうがよいと私は思います。自分が限定的な視座に立っていることに気づくこと、解釈する思考を取り払ってしまうことも大切です。フィールドワーク実習を通して鍛冶職人の方々に出会い、「現場」の技術者に惹かれた私は、鉄鋼業界に志願し、山口県に工場を擁する企業に就社しました。民俗学を学んでいなければこの御縁はありえなかったと確信しています。



平成29年度卒(哲学)
朝日新聞社記者 白見 はる菜

2015年6月に文科省が全国の国立大への通知で「人文社会科学系学部・大学院については(中略)社会的要請の高い分野への転換に積極的に取り組むよう」と言及し、波紋が広がりました。まさに当時在学していた私と友人らは愕然としましたが、人文学も縮小やむなしと考えたことは一度もありません。

哲学コースで学ぶ中で、今日の国家の制度やわたしたちの道徳心、宇宙のなりたちなどにいたるまで、哲学者がそれまでの常識を疑い、改めて定義し積み重ねた結果だと気づきました。

その構造はいつも同じはずです。記者として働く上でも、わたしが信じてきた常識が崩れる瞬間や、自分の倫理観では理解しきれない悲惨な事件に遭遇します。鶏呑みにするのは楽ですが、目の前の事柄を受け止めた上で自ら疑い考える力は、学問の分野や時代を問わず不可欠なものではないかと思えます。

人文学類は刺激的な先生方や学生ばかり。皆さまにとって大きな財産になると思います。



平成20年度卒(中国語学)
大東文化大学講師 上田 裕

人文学類の第一の魅力は、先生の丁寧な指導により、専門分野を深く学べることです。私は言語学専攻中国語学コースに所属していましたが、4名の先生のご指導の下で、中国語の文法、音韻、語彙について、理解を深めることができました。卒業論文では、発見の状況で用いられる中国語表現について、日本語や韓国語と対照しながら考察しました。修士論文と博士論文もこのテーマをさらに掘り下げるかたちで執筆しました。私の研究のスタート地点は、間違いなく人文学類で執筆した卒業論文にあります。卒業論文の執筆に際しては、テーマ選びから論文の書き方、内容、発表レジュメの作り方に至るまで、複数の先生から熱心な指導を受けることができます。こうした丁寧な指導体制は、人文学類の特長の一つであると考えています。

人文学類の第二の魅力は、専門外の分野についても広く学べることです。私は2年生から4年生までの間に、朝鮮語を初級から上級まで履修しました。学習を始めてみると、日本語とよく似た朝鮮語の文法構造が新鮮に感じられ、中国語同様、強い魅力を感じました。後に、朝鮮語文法についても考察できるようになり、研究の幅を広げるのに役立ちました。これもひとえに、人文学類に、他分野の学習を広く許容する雰囲気があったおかげです。

人文学類では、深く広く、そしてのびのびと学ぶ楽しさを感じられるはずです。自分の興味に忠実に、4年間、積極的な気持ちで勉学に励むことをお勧めします。



平成30年度卒(歴史地理学)
茨城県中学校社会科教員 古藤 直輝

私は人文学類で歴史地理学を学び、今は中学校で社会科を教えています。中学校では生徒の多くが、「なぜ社会科を勉強しなければならないのか？」と質問してきます。しかし、私がある場で「現在や未来に生かすことができるから」などと答えても、生徒はあまり納得しません。それでも、授業の中で「あ、だから社会科を学ぶのか」と生徒が時々思えるような授業を展開できるようになったのは、人文学類で歴史地理学を学んだことが根本にあると思っています。

「現在は過去の積み重ねである」と先生がよく仰っていました。歴史地理学では事前のデスクワークを踏まえ、フィールドに出て現地の景観を観察したり文献資料を調査したりします。デスクでの学びとフィールドでの学びの両方をつなぎ、過去と過去、さらに過去と現在とを結び付けながら研究を進めます。だからこそ、過去や現在の人間活動を扱い、未来を創る子どもたちを育てる社会科の教員として、人文学類での学びは大変有意義でした。今後も人文学類での学びを生かし、子どもたちに接していきたいと思えます。

人文学類に関するQ&A

Q 希望通りの主専攻・コースに入れますか？

A 入れます。3年次に進むときに正式な主専攻と専攻コースの決定を行いますが、人数制限などはまったくありませんので、当該専攻コースで定められている専門基礎科目(11単位)の履修が済んでいれば、希望通りの主専攻および専攻コースに入ることができます。

Q 主専攻・コースの途中変更は可能ですか？

A 可能です。やはり、専門基礎科目の履修が条件になりますが、希望する場合は十分に可能です。例えば、史学主専攻を希望していた学生が、ロシア語の授業を受けているうちに、ロシア語を本格的に勉強したくなり、言語学主専攻に変更した、などの例がありました。

Q 取得可能な資格について教えてください。

A 所定の教職科目を履修すると、中学校及び高等学校教諭一種の教育職員免許状取得のための資格を得ることができます。人文学類で取得できる教員免許状の教科は、国語、社会(高校は地理歴史、公民)、英語です。
また、「博物館学」等の単位を修得すれば、学芸員の資格を得ることができます。

Q 語学教育の内容について教えてください。

A 1～2年次にグローバルコミュニケーション教育センター(CEGLOC)で開講されている外国語を学びます。人文学類生の多くは英語、および、それ以外の外国語を1つ履修します。
英語は1年次に4単位履修します。CEGLOCの英語は「読む、書く、聞く、話す」の4技能のバランスに配慮し、創造的思考力、国際社会への対応力、および、学術的活動に必要な言語運用能力の基盤を養成することを目標としています。
また、第1外国語とは異なる外国語を英語、ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、朝鮮語から選択し、2年生までに4単位を履修します。

筑波大学では、共通科目の外国語として様々な言語が学べる環境が整っていますので、未知の外国語の学習にも積極的に取り組み、多様な言語・文化に触れ、視野を広めてください。
また、CEGLOCのメディアライブラリーには、たくさんの語学視聴覚教材や、外国語学習に適した映画やドラマ等のDVDが備えられていて、自由に利用することができます。自分のペースで楽しみながら学習し、どんどん語学力を伸ばすことが可能です。
人文学類で専門的に学ぶことのできる言語としては、日本語、中国語、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、満洲語、サンスクリット語、ヘブル語、アッカド語などがあり、他大学ではなかなか学ぶチャンスのない言語も含まれています。人文学類では、様々な言語について深く学ぶことを通して人間の本質に迫る知的体験を得ることができます。

Q 文系は就職が不利ですか？

A 一概にそうは言えないと思います。最近の就職先については本冊子の20ページをご覧ください。

Q 留学制度はありますか？

A あります。詳しくは本冊子の4ページをご覧ください。

その他のQ&Aは下記のウェブページで読むことができます。
<http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/faq>



留学先の例(ハイデルベルク大学)

入試情報

定員

1学年120名(留学生を除く)
※1年次は、うち30名が総合学域群に所属

入学者選抜方針(アドミッションポリシー)

教育目標	「人間とは何か」という問いを根底におき、人間存在とその諸活動の所産としての文化全般について主体的に考察しうるとともに、グローバル化が進展する世界における諸問題にも積極的に関与し発言しうる、真に教養のある人材を養成すること。	
求める人材	人文系の学問に必要な論理的な思考力と表現力を十分にもつと同時に、自律的な学習と考察を通して問題を自ら発見し、解決していく能力を有する人材。	
入学までに学んでおいて欲しいこと	人文系の学問の基礎となる言語や社会に関する学科について十分な能力を習得し、希望する専攻分野に関連する他の学科についても基礎的な知識を有していることが望ましい。	
入学者選抜方針	個別学力検査(前期)	入学後の学習に必要となる基礎学力と思考力を十分に持ち、人文系の学問に取り組むことのできる人材を選抜します。
	個別学力検査(後期)	論理的な思考力と表現力をもつと同時に、旺盛な知識欲と探求心を有し、人文系の学問への適応性を示す人材を選抜します。
	推薦入試	高等学校における学習の基礎をしっかりと身につけた志願者の中から、個性豊かな課題意識と向上心を持ち、人文系の学問への適応性を示す人材を選抜します。
	AC入試	人文系の学問に関わる専門的知識を主体的に吸収し、自己の判断力を磨いていく能力と創造的な問題解決能力を有する人材を選抜します。
国際バカロレア特別入試	国際バカロレア資格を取得した者を対象として、主体的に学ぶための知識や思考力、明確な目標をもって学ぶ意欲、また、語学力を含めたコミュニケーション能力などを重視して入学者を選抜します。	

入試スケジュール

- 10月：AC入試(アドミッションセンター入試)
- 11月：推薦入試・国際バカロレア特別入試
- 2月：個別学力検査(前期)
- 3月：個別学力検査(後期)

このほかに、以下の入試があります。
● 私費外国人留学生入試(日本国籍を有しない者が対象/試験時期2月/若干名)
※コロナウイルスへ対応等のため、日程他が変更になる可能性があります。
随時筑波大学入学関連ページ <http://www.tsukuba.ac.jp/admission/> をご覧になって、最新情報をご確認ください。

本学のアドミッションセンター窓口(本部棟2階)で入試関連資料が入手できます。

受付時間：9:00～12:00、13:15～17:00(土曜、日曜、祝祭日、休業日を除く平日)
〒305-8577 茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学アドミッションセンター
電話：029-853-7385 FAX：029-853-7392
メール：ac-img@ml.cc.tsukuba.ac.jp

人文学類ウェブサイト(<http://www.jinbun.tsukuba.ac.jp/>)もぜひご覧ください。

人文学類に関するニュース、授業のシラバス、授業紹介、学生インタビュー、よくあるご質問など、本冊子にはない情報をご覧ください。